

車種別接続情報

管理 No. H-0098 (1/4)

メーカー	ホンダ	車体型式	JG1~2
車種	N ONE	年式	H24.1.1~R2.1.1
専用ハーネス	H-122 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

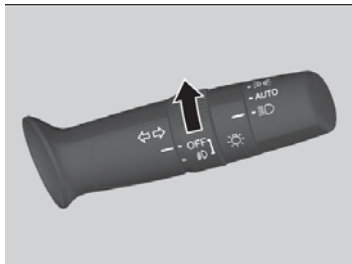
車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

- 専用機種(VE-E030H、VE-M031H)のみ取付可能です。他の機種は取付できません。
- ディーラーオプションのハロゲンフォグライト装備車には取付できません。
- P・ポジション自動検出機能は使用できません。
ブレーキ検出線(茶)をフットブレーキスイッチ配線に接続してから、ブレーキペダル操作でのP・ポジション自動検出の設定を行ってください。
- エンジンスターターでのエンジン始動時は、アクセサリ(ACC)電源は出力されません。
- エンジンスターターのドアロック機能を使用する場合、別売品は必要ありません。
また、別売品のハザード制御(A-18SF)を取付けること無く、エンジンスターターでの始動時、ドアロック/アンロック時にハザードランプを点滅させます
エンジンスターターのリモコン操作で、ドアロックを行うとハザードランプが1回点滅、アンロックを行うと2回点滅します。
エンジンスターターでの始動検出が確認されるとハザードランプが3回点滅します
- ターボタイマー機能はございません。

ディーラーオプション / 標準装備 フォグライトの見分け方

フォグライト装備車は取付前にご確認ください

【標準装備のフォグライト】premiumグレード等に装備



ライトスイッチレバーにフォグライトのスイッチがある

※エンジンスターターは取付可能です

【ディーラーオプションのハロゲンフォグライト】



ここにスイッチが付きます

ステアリング右下 めくら蓋部ハロゲンフォグライトのスイッチがある

※エンジンスターターの取付はできません

各部の外し方

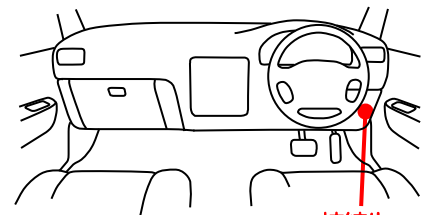
取付はヒューズボックス部となります。バッテリーを接続したままカプラの抜き差しを行うと、ECU故障の原因となる恐れがあるため、必ずバッテリーを外し、2~3分放置してから作業を行ってください。

なお、ステアリングコラムカバーを外す作業で、ステアリングを回す事が必要となります。

コラムカバーを固定しているビスを外してから、バッテリーを外し、ヒューズボックス部の作業を行ってください。

H-122及びエンジンスターター付属のセンサーハーネスは、ヒューズボックス裏へ取付するため、下記の手順でヒューズボックスを手前に引き出し作業を行います。

- 1.ステアリングコラムカバー上部を外す
- 2.ステアリングを回しコラムカバー下部を固定している ビス2箇所を外す
・コラムカバー下部は下記ロアカバーを外した後に取り外します
- 3.バッテリーを外す
- 4.右サイドリッドを外す
運転席側インパネ側面(エアコン吹き出し口横)のカバーを外します
- 5.センターロアカバーを外す
センターロアカバー部のツメ、クリップを外し、手前に引き出し外します



接続先
ヒューズボックス
H-122及びセンサー
ハーネスを接続します。

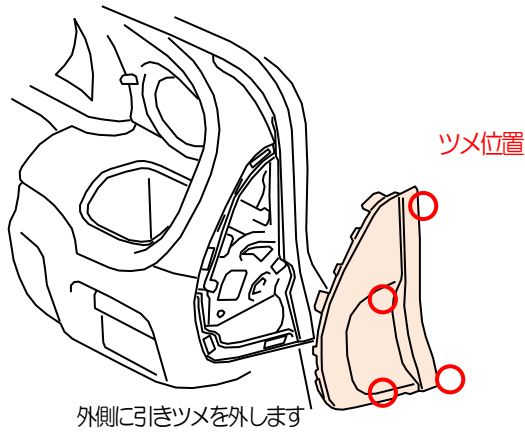
車種別接続情報

管理 No. H-0098 (2/4)

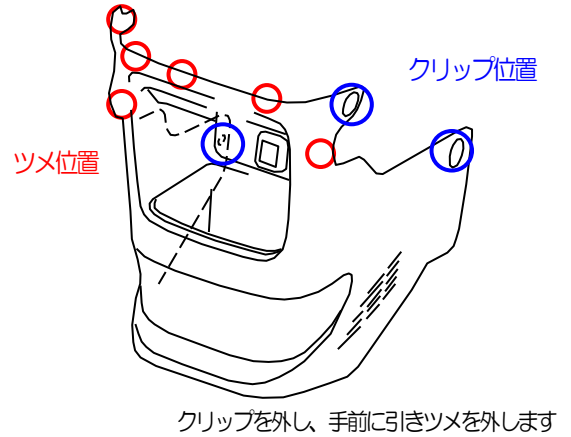
メーカー	ホンダ	車体型式	JG1~2
車種	N ONE	年式	H24.11~R2.11
専用ハーネス	H-122 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

【右サイドリッドの外し方】



【センターロアカバーの外し方】



6.ロアカバーを外す

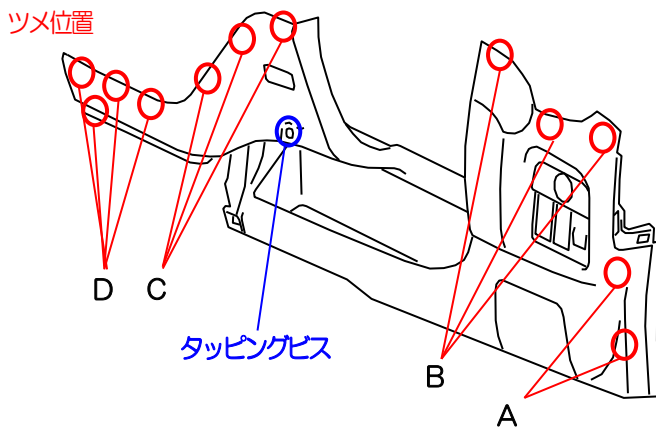
- ロアカバーのAから順に手前に引っぱりフックを外します

7.ステアリングコラムカバー下部を取り外す

8.ヒューズボックスを外す(手前に引き出す)

- ヒューズボックスの表側の各カバーを外す
- ボルト固定している2箇所と側面のロックを外す(ヒューズボックスは完全に外すわけではありません)
- ヒューズボックスを手前に引き出し、ハーネスが接続できる状態になります

【ロアカバーの外し方】

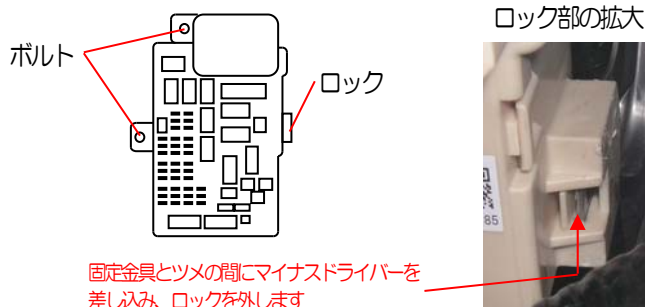


コラムのロックレバーを解除し、コラムのチルトを最上位の位置にします

ロアカバーを手前に引っ張り、Aから順にツメを外していきます
ツメが固いので必要に応じて内張りはがし等をご使用してください

1箇所 タッピングビスで止まっています

【ヒューズボックスの外し方】



ボルトと側面のロックを外すと、ヒューズボックスを手前に引き出せます。

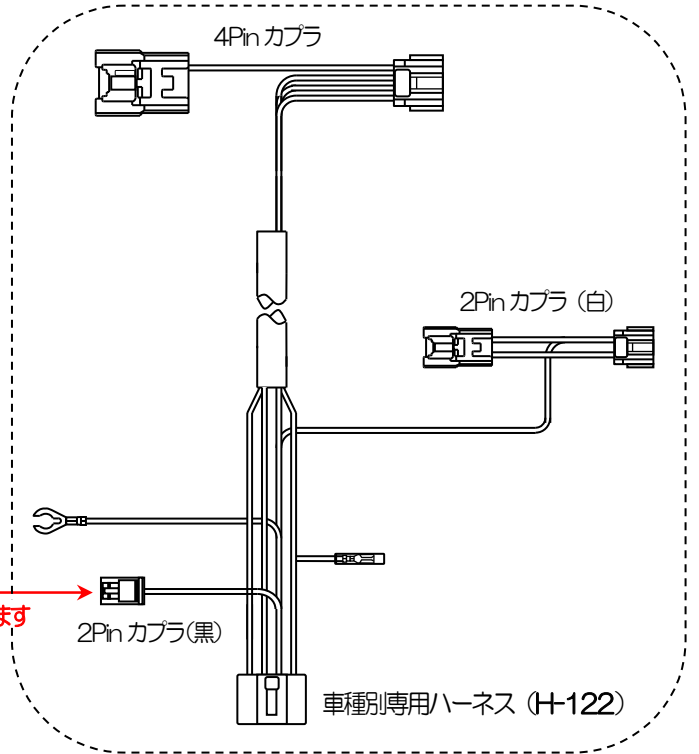
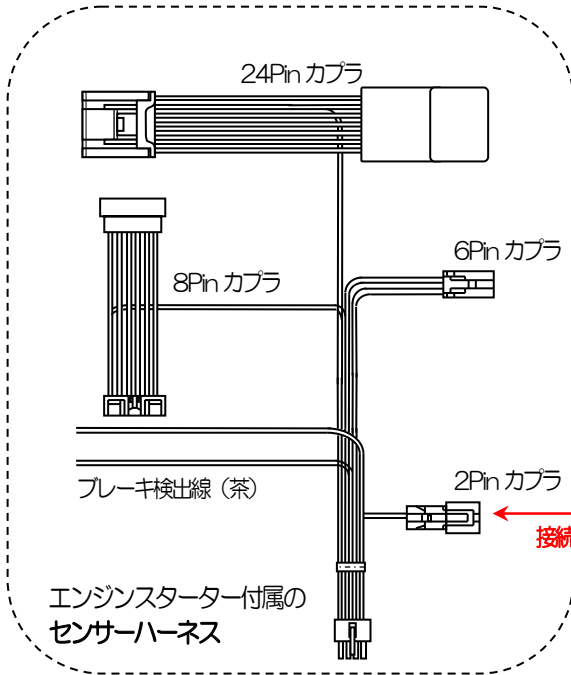
車種別接続情報

管理 No. H-0098 (3/4)

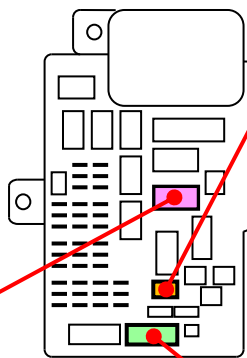
メーカー	ホンダ	車体型式	JG1~2
車種	N ONE	年式	H24.11~R2.11
専用ハーネス	H-122 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

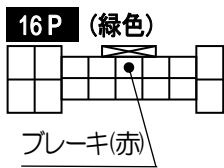
ハーネスの接続



【ヒューズBOX表側】



センサーハーネスのブレーキ検出線 (茶) を接続



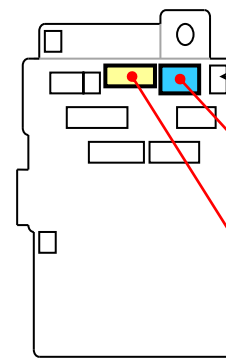
センサーハーネスの6Pinカブラを接続

(車両側は空きカブラです)
※ディーラーオプションなどの用品取付に使用されます

なお、ディーラーオプションのオートリトラミラー装備車は3枚目を参照ください

センサーハーネスの24Pinカブラを接続

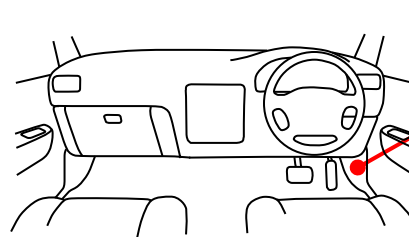
【ヒューズBOX裏側】



エアバック用カブラ (黄色)

センサーハーネスの8Pinカブラを接続

H-122の4Pinカブラを接続



サイドカウル内 奥側面にある2Pin中継カブラ

H-122の2Pinカブラ (白色) を接続

車種別接続情報

管理 No. H-0098 (4/4)

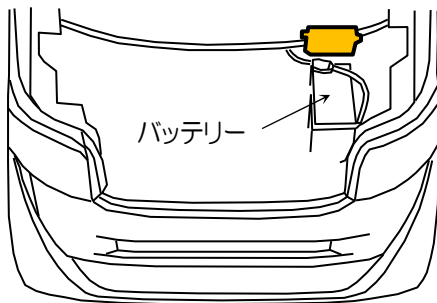
メーカー	ホンダ	車体型式	JG1~2
車種	N ONE	年式	H24.1.1~R2.1.1
専用ハーネス	H-122 (VE-E030H、VE-M031Hのみ取付可能です 必ず取付する機種をご確認ください)		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

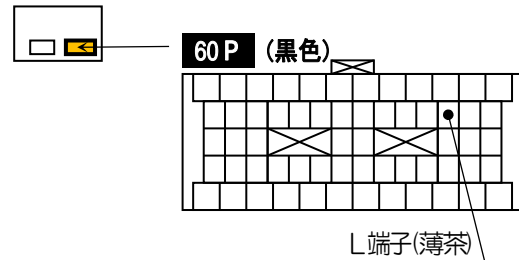
L端子の接続について

接続必須ではありませんが、エンジンスターターの始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してもエンジンが掛って止まる場合、L端子の接続を行ってください

エンジンルーム内 バッテリー奥にあるエンジンコントロールECU



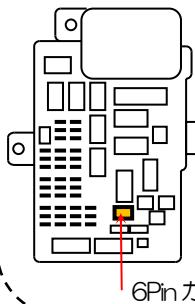
エンジンコントロールECU



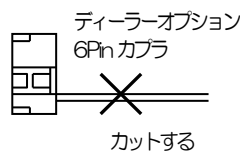
ディーラーオプション (オートリトラミラー) 装着車への接続について

(装備のない場合、下記接 (加工) 続方法は必要ありません。なお、センサーハーネス6Pinカブラの接続は必要になります)

ディーラーオプション (オートリトラミラー) が装着されている場合、下記の接続をしてください。



1. 既に接続されている、ディーラーオプション側の6Pinカブラを外します
2. エンジンスターターのセンサーハーネス (6Pinカブラ) を接続します。
3. ディーラーオプション側のカブラ (6Pin) から出ている配線 (1本のみ) をカットし、センサーハーネス (6Pin) から出ている白線 (約5センチほどの絶縁処理されている配線) に、カットした配線を接続します



全ての接続が終了したら、バッテリーを接続しP・ポジション検出を行います。

Pポジション検出の設定手順

(Pポジション検出の設定を行うと自動的にイモビDの登録されます)

P・ポジション検出の設定

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング (P) ・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) スマートキーを携帯し、フットブレーキを踏まずにエンジン スタート/ストップスイッチを押してIGをONにします。(プッシュスタートスイッチを押すごとに、OFF ACC IG OFF・・・の順に切り替わります。) 約3秒後にジャンクションユニットから『ピピッ』音が出ます。
- 4) ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください) ジャンクションユニットから『ピッ』音が出ます。
- 5) ブレーキペダルを離します ジャンクションユニットから『ピロロロロロ』音が出ます。
- 6) エンジンスタート/ストップスイッチを押して電源をOFFにします。